

輸送動向について(平成20年8月)

平成20年9月

1. 輸送概況

今月は、「平成20年8月末豪雨」に象徴される記録的な集中豪雨により、東海道線及び東北線での輸送障害が続発し、高速貨266本、専貨12本が運休した。

荷動きは、上旬は全国的な猛暑及び盆休前の先送りにより、季節関連商品の出荷が強勢となったものの、下旬は輸送障害の影響を大きく受け、低調に推移した。

品目別にみると、コンテナ貨物では、農産品・青果物、家電・情報機器などが前年を上回ったものの、食料工業品、積合せ貨物などが前年を下回り、全体では前年比100.7%にとどまった。農産品・青果物は北海道地区の野菜類が生育良好により例年より出荷が早まり、増送となった。一方、積合せ貨物は輸送障害の影響を強く受け、減送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油が前年を大きく下回り、全体では前年比78.4%となった。石油は燃料転換の進展のほか、価格高騰に伴う消費の減少もあり、すべての油種が減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,807	1,794	100.7%	9,576	9,329	102.6%
車扱	780	994	78.4%	4,227	4,743	89.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	180	173	7	104.0%
	化学工業品	168	171	-3	98.2%
	化学薬品	125	121	4	103.3%
	食料工業品	282	288	-6	97.9%
	紙・パルプ	302	294	8	102.7%
	他工業品	131	132	-1	99.2%
	積合せ貨物	185	194	-9	95.4%
	自動車部品	59	57	2	103.5%
	家電・情報機器	33	29	4	113.8%
	エコ関連物資	29	30	-1	96.7%
	その他	313	305	8	102.6%
	コンテナ計	1,807	1,794	13	100.7%
車扱	石油	445	598	-153	74.5%
	セメント・石灰石	145	142	3	102.4%
	車両	86	118	-32	72.6%
	その他	104	137	-33	76.2%
	車扱計	780	994	-214	78.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)